

第13回 平取ダム地域文化保全対策検討会

議 事 要 旨

日 時：平成24年7月27日（金）

場 所：平取町中央公民館

北海道開発局室蘭開発建設部

沙流川ダム建設事業所

第13回 平取ダム地域文化保全対策検討会 議事要旨

日 時：平成24年7月27日（水）17：00～19：15

場 所：平取町中央公民館1階 大会議室

出席者：辻井 達一 北海道環境財団理事長

萱野 志朗 北海道アイヌ協会平取支部副支部長

川上 満 平取町長

川奈野栄子 北海道アイヌ協会平取支部副支部長

木幡サチ子 北海道アイヌ協会平取支部／平取アイヌ文化保存会理事

木村 英彦 北海道アイヌ協会平取支部長

斉藤 憲章 平取町教育委員会教育長

櫻井 幹也 平取町議会総務文教常任委員会委員長

常本 照樹 北海道大学アイヌ・先住民研究センター長

鍋澤 保 北海道アイヌ協会平取支部副支部長

西島 達夫 北海道アイヌ協会平取支部副支部長

配布資料：資料－1 平取ダム地域文化保全対策検討会設置要領（案）

資料－2 地域文化に係る調査・検討について

参考資料1、1－イ、1－ロ、1－ハ 平成23年度調査成果概況

参考資料2－1 平成24年度調査作業年間基本計画、2－2 調査計画説明

議 事：1. 開会

2. 挨拶

3. 平取ダム地域文化保全対策検討会設置要領（案）について 【資料－1】

4. 審議 地域文化に係る調査・検討について 【資料－2】

5. 報告事項

地域文化調査の概要について

1) 平成23年度調査の報告 【参考資料1、1－イ、1－ロ、1－ハ】

2) 平成24年度調査の計画 【参考資料2－1、2－2】

6. 閉会

1. 開 会

事務局：定刻になりましたので、ただいまから、第13回平取ダム地域文化保全対策検討会を開催したいと思います。

議題に入るまでの間、司会を務めさせていただきます沙流川ダム建設事業所の高橋と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

議事に入ります前に、会場の皆様をお願いを申し上げます。傍聴、取材につきましては、議事進行の妨げにならないよう静粛にさせていただきますとともに、携帯電話につきましては、電源をお切りになるか、マナーモードに設定していただくようお願いいたします。

また、円滑な運営を図るため、フラッシュ、照明等を用いた撮影は冒頭のあいさつまでとさせていただきますので、皆様のご協力をお願い申し上げます。

なお、事務局では、本検討会の記録のため、録音、撮影等を行いますので、ご了承を願います。

続きまして、資料の確認をさせていただきます。

本日の資料は、まず議事次第でございます。続きまして、資料－1として、平取ダム地域文化保全対策検討会設置要領（案）、資料－2として、地域文化に係る調査・検討について、参考資料1として、平成23年度調査成果概況、参考資料1－イとして、精神文化保全対策に関する調査、参考資料1－ロとして、生物の生存環境現地調査、参考資料1－ハとして、生活文化現地調査：川洲畑現地調査、参考資料2－1として、2012年度調査作業年間基本計画、参考資料2－2といたしまして、平成24年度調査計画説明となります。

資料の方はよろしいでしょうか。

2. 挨拶

事務局：それでは、議事に先立ちまして、沙流川ダム建設事業所長の横濱より、挨拶いたします。

横濱所長：皆様、おばんでございます。本日は、このような蒸し暑い中、そして夕刻の遅い時間にお集まりいただきまして、大変ありがとうございます。

今日も含めて、最近、蒸し暑い日が続いておりますが、今年は、北海道については雨がちょっと少ないという印象を受けております。我々河川管理者にとりまして、洪水という面においては何よりでございますが、全国的には、九州を初め、活発な前線の影響で大きな被害が出ているところです。北海道におきましても、今後の台風シーズンを控えて、我々も気を引き締めなければならないと考えております。

また、これからの収穫期に向けて、作物の豊作も願うところでございます。

さて、本題でございますが、平取ダムの事業用地周辺の地域文化保全ということで、重要な調査検討を平成18年度から進めております。また、本検討会におきましても、今回で13回目を数えることになりました。これまでも現地調査等、さまざまな調査を行いながら、記録による保全、行為による保全、場による保全という形で行ってきております。

本日は、平成23年度においても、さまざまな調査を現地などで行っておりますので、そのようなものを報告し、また、これまでの成果や報告の中で不足しているようなところを補う形で、平成24年度の調査内容、検討を説明させていただければと考えております。

委員の皆様におかれましては、地域文化保全に当たって、保全対策に関する活発なご審議をいただきまして、よりよいアイヌ文化の保全対策をまとめていきたいと思っておりますので、本日はよろしくお願いいたします。

3. 平取ダム地域文化保全対策検討会設置要領（案）について【資料－1】

事務局：それでは、早速、一つ目の議題であります、平取ダム地域文化保全対策検討会設置要領（案）についてです。

お手元の資料1をご覧ください。

今年度につきましては、検討会の構成委員については変更がございません。また、委員の委嘱期間は、平成25年3月31日までとなっております。

今、ご説明しました検討会設置要領（案）について委員の方々からご質問やご意見がございましたらお願いいたします。

特に問題はないでしょうか。

（委員 異議無し）

事務局：それでは、資料1の設置要領（案）の（案）をとりまして、本検討会の設置要領といたしますので、よろしくお願いいたします。

なお、昨年度に開催しました第12回平取ダム地域文化保全対策検討会の議事要旨につきましては、室蘭開発建設部のホームページに掲載しておりますことを、ご報告させていただきます。

続きまして、座長の選出に移ります。

検討会の座長は、検討会設置要領第4条第2項で、委員が互選と定められております。ついては、委員の皆様から座長の推薦、自薦をいただきたいと思います。いかがでしょうか。

●：座長につきましては、引き続き、辻井委員にお願いしたいと思います。

事務局：ただいま、辻井委員のご推薦をいただきましたが、ほかにご推薦する方、ご自薦等はございますでしょうか。

(委員 異議無し)

事務局：それでは、辻井委員に座長をお願いするということによろしいでしょうか。

(委員 異議無し)

事務局：ありがとうございます。

それでは、委員の皆さんご賛同をいただきまして、辻井委員に座長をお願いいたします。どうぞよろしくお願いいたします。

辻井座長におかれましては、恐れ入りますけれども、座長席の方へご移動をお願いいたします。

事務局：それでは、座長にご就任いただきました辻井委員にご挨拶を頂戴したいと思いますが、よろしいでしょうか。

座長：座長に指名をいただきました辻井でございます。

一度、ここで断わってみたいと思ったのですが、そういうことをするとまた角が立ちますから、お引き受けをさせていただきました。しばらくの間、ご協力をお願いしたいと思います。

4. 審 議 地域文化に係る調査・検討について【資料－2】

* 事務局より、全体スケジュール、資料－2 地域文化に係わる調査・検討について説明

座長：どうもありがとうございます。

今、地域文化に係る調査・検討についてということで、精神文化への対応、生物の生存環境への対応、地域文化に係る調査・検討の流れ、それから、概要ですけれども、平成24年度調査・検討内容についての説明がございました。

これについて、何かご質問、ご意見がございましたら承りますが、いかがでしょうか。

●：今、ここで言っているのか迷ったのですが、いろいろな方向で、多岐にわたる分野で調査をされているのですが、流域と考えたら、例えば、流域内の湿地とか近くの休耕田に水を入れて湿原をつくって、ガマなどをやることも視野に入れてほしいのです。そ

れから、ここの流域に埋蔵文化財が結構あります。そういったものの調査も視野に入れてやっていったらいかがかなと考えているのですが、どこで言っているのか、報告事項2)で言っているのか迷ったのです。

座長：多分、そういうものも含まれるだろうと思いますけれども、言葉としては入っていないわけですね。

今のご意見はどうでしょうか。

事務局：まず、湿地等につきましては、額平川を中心に考えておりますけれども、今後、委員会等で検討させていただきたいと思っております。

また、埋蔵文化財のご質問がございましたけれども、こちらにつきましては、本年度、埋蔵文化財調査を豊糠地区で予定しております。こちらについても今後、ご案内したいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

●：早急に平成24年度、今すぐそれを具体的に計画に入れろというのではなくて、今後に向けてそういうものも含めた方法でいってくればということで、今、意見を申し上げました。ですから、ぜひ、そういうものも選択肢に入れて考えていただきたいと思っております。

座長：ありがとうございました。

他にいかがですか。

●：これは、検討会で言ったのか、勉強会で言ったのか記憶は定かではないのですが、宿主別に橋がかかりまして、道路が変わって、今はカムイワッカのところに行きにくくなっているという部分をどう配慮していくのかということと前を前に言ったような気がするのですが、そこら辺はどういうふうにしていくのか、ちょっと聞きたいのです。

座長：こういったことはどうですか。

事務局：カムイワッカにつきましては、新しい道の方からは行けないということで、もとの旧道を利用してカムイワッカの方に行けるようにできないかと考えております。

座長：今の答えでよろしゅうございますか。

●：今は行けないということですか。まだ、ゲートがかかっているのですか。前は、旧道の方にはバリケードみたいなものがあったのです。

事務局：今は、ゲートがかかっておりまして、廃道といたしますか、道も荒れており、安全が確保できない状態であるので、勉強会とか現地調査にあわせて、現地をご案内しようと思っております。

●：わかりました。

座長：よろしいですか。

ほかにいかがですか。

今のお2人のご意見で感じたのですけれども、例えば、今の調査・検討内容は有用なものについて挙げてあるだろうと思うのです。個々のというのは、こういうことはどうだということを全部挙げるのは、そこまでは必要ないのかもしれないけれども、逆に言うと、ここに書いてないものはやらないのか、あるいは、やってはいけないのかというふうになると困るという意味だろうと思うのです。表に書いていないからやらないのだろうな、だけど、個々のことを全部書くわけにいかないとすれば、そういう含みだということぐらひは確認しておいていただくと安心できるのではないだろうかと思えます。

そういうふうに解釈してよろしいですか、いかがでしょうか。

事務局：今、代表的なものを記載しております。

座長：よろしいですか。

では、そういう含みだと考えてやっていただきたいと思えます。

他はよろしゅうございますか。

(委員 異議無し)

座長：もしよろしければ、また後で、まとめのところでもご意見、あるいは思い出してこういうことはどうだというご質問があるかもしれませんが、承ることはできると思えますので、一旦ここで、今の地域文化に係る調査・検討についてはここまでとさせていただきますよろしいでしょうか。

(委員 異議無し)

座長：どうもありがとうございました。

それでは、先に進みます。

5. 報告事項

* 調査室作業主任並びに調査室各担当者より、平成23年度調査の報告（参考資料1、1-イ、1-ロ、1-ハ）について説明

座長：まず、一遍切りまして、皆様のご感想なり、ご意見を伺いたいと思います。

それでは、非常に興味のあるまとめを報告していただきました。ここまでのことについてご感想なり、ご意見なりを伺いたいと思います。

どなたからでも結構ですけれども、〇〇さん、いかがでしょうか、全体を通してご感想なりご意見なりをお話してください。

●：私は、よく細かく調べられているなという感想を持ちました。

私が特に興味を持ったのは、特別採捕のところで、事前に枯れ葉を取り除いたり、泥をとっていたというのは知らなかったのです。実際に去年やったときには、割と水が澄んでいて、比較的簡単にとれたなと思ったので、その辺の工夫もあると思います。

また、やなの設置の仕方も工夫されて、何匹か入っていたのを見ました。私も話にしかなかった、実際に体験したのは、この特別採捕の事業が初めてで、ああいうのは我々の世代では全く未経験です。そういうところが、非常に興味を持ちました。

もう一つ、シカの骨による釣り針でやったというような実験もされていましたけれども、これは多分、うまくできたのだろうなと思って、こういう点も興味深いなと思いました。

あと、植生についてもいろいろと調べられて、食文化の継承ということでレシピ集もつくられているのは、アイヌ文化の伝承という意味では非常に意味があるような印象を持ちました。

まとめてはいないですけれども、感じたものだけをお話しさせていただきました。

座長：ありがとうございます。

もしお気づきの点がございましたら、また後でも結構ですから仰ってください。

今の〇〇さんのご感想について、〇〇さんなり、どなたか、例えば食文化についての担当の方に、今の感想について、これからどうしようと思うというお考えがあるのだったらお話しいただいた方がいいと思いますけれども、いかがですか。

調査室：苦勞した点をご指摘いただいて、ありがとうございます。

計画の説明の中でも、こうしたいということはお説明させていただいています。

座長：今、〇〇さんが、伝統的漁法のことにも仰いました。私も大変おもしろい実験をおやりになったと思うのですけれども、これについて、事業所の方にお知恵を拝借したいので

すが、木を川の中に入れて流速を落としてということがありますね。ああいうところの小さい流速計みたいなものはあるのですか。非常に部分的というのか、川の一部の流速が落ちるとか、落ちないのかということは、感覚的なものだけでなく、できれば流速計できちんと計って見たらおもしろいのではないかと思うのですけれども、そういうものはありますか。

事務局：流速計としてはございます。事業所では持っておりませんので、どういう方法があるか検討させていただきたいと思います。

座長：データとして、そういうものをとってみると、もっとおもしろい結果が得られるのではないかと思うのですけれども、どうでしょうか。今の話だと、そういうものはあるという話ですから、ぜひひとつお考えになったらどうでしょうか。

調査室：実は、これはやや裏話的ですが、やなを設置しますと、下流側はえぐられるのだらうと思いましたが、逆に土砂がたまりました。それでも、効果があったことは想像以上でしたので、そういったものを積み重ねていきたいと思います。

座長：ぜひ、事業所の協力を得ておやりになるといいのではないのでしょうか。

こういうものは、ほかの分野にもあるのではないかと思うのです。例えば、食文化のことについても、ただ、塩をどのぐらい入れるかということだけではなくて、温度みたいなものをきちんと計ってみると、結構おもしろいデータが出るのではないかと思います。少し、そういう基本的なデータも併せてお考えになるといいだろうと、私はそういう面はわかりませんが、感じとして申し上げているのですが、そんなふうなものはどうでしょうか。

他に、どなたからでも結構ですが、気づいた点がございましたらどうぞ。

●：冒頭で、埋蔵文化の話が出ました。そして、事業所の方は、発掘調査ということも考えているのですね。それが、具体的に平成24年度の事業として行われるのかどうかということですが。

それから、発掘調査の結果の報告ですけれども、それが、年代的なものもちゃんと明記されるのか、それから、発掘によって何かが出たとするならば、その和人の人が入る以前のことだと思うものですから、民族的にこれはどういう使用目的で先進文化を伴ったものかという報告もなされるのか、その辺の見解をお伺いしたいと思います。

調査室：二つありまして、私たちが今、作業の課題としていることからいっても、例えば、学校教育で普及を図るということで、その成果を出すようにしました。それをさらに拡充

したりということは、今年度においても十分可能かと思っています。

もう一つは、額平は埋文調査が割と何回か行われている区域です。やや難しい話になりますが、アイヌ文化の起源とか契機ということについて言うと、言い方は難しいのですが、慎重でなければならないとはいえ、やはり、それを探るためには貴重な資料を得るのが埋文調査だろうと思います。これは、その調査の中でもきちんと話をして、成果を、アイヌ文化の理解を深めるのにつなげることはしなければならないと思っています。

座長：いかがでしょうか、そういうふうなお考えだということですか。

●：現実には、発掘調査はまだ行われていないですから、多分、平成24年度の事業でやられるのだらうと思いましたがけれども、結果としては、年代を確認できればということと、出たものの使用目的、先進文化として、先住の人々がどういう思いでそれを使っていたかというところまで研究、調査ができればなと思います。

調査室：今のことで補足させていただきますけれども、埋蔵文化財の調査は実は行われてきているわけです。ただ、このアイヌ文化の関係の調査と必ずしも密に相互の情報共有とか意見交換ができていない面があります。それは、この平取町の問題だけではなくて、実は北海道全体がそういうところがありますので、あり方なんかはかなり影響していると思います。

ここでの試みが、しっかりアイヌ文化の歴史を理解していく上で、そういう成果をきちんと生かしていけることになれば、そういう意味でもこの調査の意義がまた高まってくると考えております。

座長：カムイノミのことについて、〇〇さんに随分お世話になりましたけれども、先ほどの報告の中に、いわゆる家族単位だけではなくて、もっと広い範囲に広げていった調査をやったと私は聞きましたけれども、そのことについて何か感想はありませんか。あるいは、お考えがありましたらどうぞ。

●：私は、検討委員になりましたもう7年がたち、おじいちゃんのチノミシリを大事にしていきたいと思いました。そして、一昨年もあるその橋が開通する前に橋の上から、そのときは子どもが札幌から来ましたので、子どもと孫としました。

去年は、本当にうれしかったのです。今まで〇〇さんなんて見向きしてくれませんでした。それで、〇〇さんと〇〇さんにもお願いしました。あの人たちは来てくれるだろうか、私は今、トノトもつくり準備しているけれども、調査室の人が非常に一生懸命お手伝いしてくださいまして、何ごとにも協力してくださっているのです、何とかここで〇〇さんと〇〇さんを入れなければと思ひましてお願いしましたら、本当に来てくださりました。それ

で、この人たちも一緒に拝んでくださいました。

それで、こうして男の人がそろったので、今年はもしうちの息子が札幌から来てくれると、男の人たちだけで拝んでいただいて、こちら辺で私は引退したいなと思っているのです。去年は、本当にうれしかったです。そういうわけで、これから身内とかではなく、もう〇〇さんも仲間ですからおいでくださいまして、なるべく大勢の方でお祈りをしたいと思っています。

おじいちゃんのお祈りしていたところ、おじいちゃんは平取町の番兵アサボと言いました、初代の番兵人です。本当に一生懸命、よく私は言われました。おまえはエトンピアの孫かとかと言われまして、はい、そうですと言ったら、エトンピアは、一度見ると絶対、馬の特徴の足の曲がりから、腰から、頭も全部覚えてしまうのだそうです。10頭いても、20頭いてもです。だから、馬を連れて行って見せると、絶対に忘れないで、それを番兵してくれる、そういうようなお話を聞いたこともあります。

そういうわけで、非常にうれしい思い出をお話ししました。

座長：どうもありがとうございました。

私がうっかりカムイノミと言ったのだけれども、チノミシリと言わなければいけないのですね。

私も、そういうところに入れていただくというのは、なかなかできないものかと考えたのです。一度、加わらせていただいて感激しましたけれども、ぜひ、そういった機会をまたこれからも与えていただきたいと思います。

今、〇〇さんのお話も出ましたから、何かご意見、ご感想なりありましたらどうぞ。

●：実は、〇〇さんたちがやっていて、私も〇〇さんもエトンピアとは縁戚関係なので、支部を挙げてやるにはちょっとまだという考え方もあって、一族の一人として、ゲスト参加みたいなものですが、行って、一緒に祈らせていただき、これがもっと大きくなるかどうかは別にして、こういうやり方なのだなという勉強にもなりました。

座長：ありがとうございました。

学校教育にこういった問題をという報告がありましたが、〇〇さん、いかがでしょうか。このことについて、なかなか難しい問題もあるのではないかと思うのです。それから、学校も特定のところだけでやるのは、サンプルみたいなものがあるので、それはそれで意味がありますけれども、例えば、もっと広げてということは難しいですか。

●：学校教育について、去年の貫気別中学校、それから今年もそれを参考にして取り上げていただいていたのですけれども、実は、イオル事業も含めて、30日の月曜日に、新しく異動になってきた先生方の研修会ということで、一昨年から町内でも取り組むようにし

ております。

ただ、教職員、それから、子どもたちも、道がふるさと事業ということで、昨年度から全道的に、昨年は29カ所、いわゆるアイヌ文化にかかわるところと北方領土にかかわるということで、二つに分けて昨年、今年とやってきましたので、そういうことで言うと、いろいろな機会を利用させていただきながら、学校教育的には大変ありがたいと思っています。

ついでに、一つだけよろしいですか。

今、それぞれ説明をいただいたときに、たまたま、膨大な内容と、皆さんの成長の過程がということで言うと、正直に言って、それを実感しながら聞いていたのですが、大変ありがたいと思っています。

もう一つだけ、関係ない話ですが、これは補足のまとめで①、②、③、④と最後の方にありましたけれども、この肝心なことを補足でまとめているのはどうか思いました。報告書の最後で、補足としてまとめ①、②、③、④とありましたが、これは、補足ではなくて、本体のどこかに入っていることかなと感じながら見ていたのです。

それから、補足のまとめ③で言うと、歴史的 position にあるものについて試論を提示したというのは、調査室の試論という意味ですか。報告を受けた調査室自体のまとめだという意味ではなくて、どっちかなと思いつつ見ました。そんな感じを受けたところもあります。

調査室：補足という表現を用いましたのは、私の気持ちとして、こういうことがありまして、スタッフが取り組んでいる報告をできるだけお聞きいただきたい、紹介したいということがあって、やや控え目にまとめを提示したいという意識でありました。

また、試論という言い方も、調査室では議論をしておりますし、3月に行った勉強会でも同じような提起はさせていただいたのですけれども、これが絶対の見解だとか、そこまでは熟していないという意識で使っておりました。

事情をご了解いただければと思います。

座長：どうもありがとうございました。

まだいろいろなところにご意見がおありだろうと思いますが、〇〇さん、何かお考えはどうでしょうか。ご質問でもご感想でも結構です。一巡、お話をいただこうかと思っています。

●：私は、何度か参加させていただいて、調査室の方が一生懸命調査をされて、資料もすばらしくて、大変よくやられているなと思います。こういうことは、広く皆さんにたくさん知っていただく機会があったらもっといいかなと感じがしました。

座長：ありがとうございました。

〇〇さんはいかがでしょう。

●：本当に、今、〇〇さんが言ったとおりで、調査室のみんなが頑張ってくれているかなというのはよくわかります。

そして、何年か前からですが、事業所の方々もいろいろお手伝いをいただいているようですが、さっきもアキアジの皮の靴なんて、誰が履いたのかわからないけれども、誰が履いたのですか。

事務局：異動してしまい、ここにはいないです。

●：履き心地を聞いたかったなと思います。靴下にアキアジのにおいがつかなかったかなと思います。

そういう面で、事業所の皆さんにも大変協力してもらって、アイヌ文化の理解のためにいろいろ勉強もされているみたいで、そういうことがきっかけに、いろいろ文化が伝承されて理解されていけばすごくいいなと感じました。

座長：ありがとうございました。

●：どうしても、議会としては、この検討会には、いつも飛び飛びで参加する形になってしまって、僕の勉強不足なのかわからないのですけれども、いつも思うのが、生物環境の調査ですが、植物に対してはよく出てくるのですが、動物の調査も含めて、イオマンテという形で動物と精神文化とのつながりというか、かかわりはものすごく深いはずですが、ただ、この一連の調査結果を見てみても、その辺のつながりは、本当に僕の目にはとまっていけないのです。その辺は、平成24年度以降に調査が入るのか、その辺がどうなっているのかということです。

イオマンテは、昔読んだ本には、クマ送りではなくて、祖霊を送るという意味で、鳥でも、イタチでも、そういうものを送るときにやった儀式だよと書いてあったので、きっともっと頻繁に儀式が行われていたはずではないのかなと僕は勝手に解釈しているのです。その辺で、動物とのかかわりの精神文化の表記というか、調査がいつ行われるのかなと思っているのですけれども、その辺はどうなのでしょう。

座長：ありがとうございました。

〇〇さんには、一番最後に町としてということも含めてお話をいただきたいと思うのですけれども、〇〇さんはいかがでしょう。

●：調査室が調査されて取りまとめられた成果を伺うたびに思うことで、今日もとりわけ強く思ったわけですが、これだけ集積された調査結果をこれから一層活用し、公表する機会を多く担保していくことが、平取町だけではなく、アイヌ民族全体のために必要なのだろうと思っています。

今日のご報告の中にも触れていただきましたが、昨年度、私どもの大学でシンポジウムにご協力いただいたということや、今年度もまたご協力いただけると伺っておりますし、また、札幌だけではなく、道外においてもそういう機会があり得るという話もございます。そういうものも、今後一層、いろいろな場でこの調査結果を広くアイヌ民族の共有の財産にしていただきたいと思いますと思うのです。

一方で、そういう調査をする人もそうですし、報告を行うに当たっても、実際にそれを担当される方々は、日々の生活を持っておられる方々なので、やはり、それぞれ難しい問題も同時にあるのだろうと思います。そういった意味で、この調査に実際に携わっている方々の地位の安定といいますか、生活の安定みたいなものも同時に何らかの形でこれまで以上に改善できていければいいし、また、そういう形でご協力できることはないのかとしたりもしております。そんなことを思いながら拝見しておりました。

座長：大変ありがとうございました。

それでは、〇〇さんに、町としてというよりも、この場合は委員としてということになるのかもしれませんが、もちろん両方含めてで結構でございます。

●：私は、いつも思っているのは、この平取町の歴史を語るときに、アイヌ文化を抜きにして語れないぐらい、自然と共生するすばらしいアイヌ文化は、平取町の宝物だと思っております。そういった意味では、このアイヌ文化の伝承は重要施策の一つとして取り組もうとしておりまして、今後とも、調査業務を通じながら、アイヌ文化の正しい理解、伝承につながっていけばいいなと思っております。

以上です。

座長：大変ありがとうございました。

とうとう一巡して全員にお話をいただくことができました。

最後になりますが、平成24年度の計画について、ご意見をいただきたいと思っております。

●：今、〇〇さんがおっしゃった動物のことに関しての精神的な問題、それからいろいろなものはどうなっているのか説明した方がいいというのは、今後どういうふうにするかという質問でもあったと思うので、その件に関して、簡単に事業所なり、調査室からお答えをいただいた方がいいのではないかと思います。

座長：事業所についてということですか。

●：いえ、どちらでも結構でございます。

座長：では、とりあえず〇〇さんから、お答えできることはお話しください。

調査室：後ほど思っておりましたけれども、今、水が振られましたので、説明させていただきます。

動物の調査をやらなかったわけではないのですけれども、今、クマの調査はかなり本格的で、予算の関係もあって、事業所と協議をした結果、かなり前に、当時、別な自然環境の調査ももう一個していて、そちらの成果をモニタリングしていこうということで、あまり踏み込まなかった経緯がございます。

ただ、おっしゃるように、とても大事な自然界の生態系ですし、文化とのつながりもとても強いので、避けられない課題かと思っております。また、何らかの形でとは考えているところです。とはいえ、北海道開発局のお考えもあると思いますので、コメントをいただければと思います。

座長：では、つけ加えてください。

事務局：動物調査につきましては、〇〇さんからお話ありましたとおり、平成15年度ごろからかなり広い範囲でやっております、かなりのデータもとっております。それを、今後、調査室の方とデータの共有化をいたしまして、どういった活用ができるか用途を考えていきたいと思っております。

座長：ありがとうございました。

ということで、よろしゅうございますか。

●：〇〇さんがおっしゃったのは、多分、イオマンテはいろいろな動物を送っているのだろうという意味ですね。こちらの方ではクマを送りますけれども、例えば、白老町の方ではカジキマグロを送ったり、道東の方で言うとシマフクロウを送ったりするのです。それを全部、イオマンテと言います。だから、そういうものはどうなのかという質問なので…

…。

ここでは、シマフクロウやカジキマグロは送りませんが、クマを送るものについて、例えば、タヌキ送りも実際にありましたし、多分、そういうことを仰っているのだろうなと思うのです。

座長：情報としても、大切なことですね。

●：そうですね。

だから、その辺、もしできるものであれば、調査という形かわかりませんが、考える余地は十分あるだろうと思います。

座長：わかりました。ありがとうございました。

それでは、平成24年度の調査計画説明をお願いします。

*** 調査室作業主任並びに調査室各担当者より、平成24年度調査の計画（参考資料2-1、2-2）について説明**

座長：どうもありがとうございました。

以上で、平成24年度調査の計画の説明を終了ということになります。

先ほどは、平成23年までのさまざまなことについて、あるいは、計画についても含めていろいろご意見をいただきました。今度は、今申し上げたような調査説明についての直接的なご質問、ご意見がございましたら、これは皆さんそれぞれにとは申しません。特にご関心があってお気づきの点があったらおっしゃっていただければと思います。

どなたからでも結構でございますが、いかがでしょうか。

今年は、こういうことで進めたいという報告でございます。

よろしゅうございますか。

（委員 異議無し）

座長：先ほどのところでも随分ご熱心にいろいろなご意見、ご質問等をいただきました。少々時間が延びてしまいましたが、今日はこれで閉じさせていただいてよろしいでしょうか。

（委員 異議無し）

6. 閉 会

座長：どうもありがとうございました。

調査室の皆さん、事業所の皆さん、真剣にご検討をいただいて、しかも適切なお答えなども調査していただきまして、感謝します。どうもありがとうございました。

それでは、これで終了といたします。